

参加無料
申込不要

地域包括ケアシステム講演会
主催：安中市医師会 共催：安中市

2019 土
12/21

14:00開演
(13:00受付)

専門職と家族が語る
認知症の最前線！

知れば怖くない

認知症

「なるのが不安」「介護が大変」

そんな思いを逆転させるお話を

講演とパネルディスカッションでお届けします。

さあ「認知症」をポジティブ変換！

会場

講演&パネルディスカッション



社会福祉法人浴風会
認知症介護研究・
研修東京センター
センター長

山口 晴保 先生



群馬医療福祉大学
リハビリテーション
学部教授

山口 智晴 先生

パネルディスカッション

ささえあいカフェ
smile a smile

代表 岩井 美苗 氏



介護者サロンささyell
特別養護老人ホームなゆた
副施設長 内村 英徳 氏

あんなかオレンジカフェ
ささえ愛センターあんなか
(安中市地域包括支援センター)



安中市
松井田文化会館
大ホール

安中市松井田町新堀530



群馬県認知症ケア研究の最前線のお二人と
安中市にて認知症カフェを主催している方々の共演です！

問い合わせ先



在宅医療相談室 あんなか (安中市医師会)
TEL 027-386-9645 FAX 027-386-9648
Email: info@musubu-annaka.info

認知症は他人ごとではなく、 地域の問題でもあります。

こんなことはありませんか？

認知症を正しく理解し、
地域全体で支えるという視点が大切です。

この間「軽度認知障害」と
言われたけれど・・・

- 認知症と一般的な物忘れの違い
- 認知症の種類
- 認知症の症状の理解
- 認知症の人の置かれている状況
- 認知症の人への対応の基本
- 家族の抱える問題点と課題
- 家族の心がまえ

最近物忘れがひどくて、認知症
かもしれないと心配・・・

認知症の介護は大変そう。

などを理解し、認知症になっても
安心して暮らせるまちを目指しましょう。

ご近所の方の様子が
変な気がする。



講師プロフィール



山口 晴保

(やまぐち はるやす)
認知症介護研究・研修
東京センター セン
ター長
群馬大学・名誉教授

略 歴

1976年群馬大学医学部卒業。同大学院で神経病理学を学び、1980年に卒業(医学博士)。同年神経内科に入局し、アルツハイマー病の研究を開始して以降、病態解明を目指して脳βアミロイド沈着機序をテーマに30年にわたって研究を続けた。1986年に群馬大学医療技術短期大学助教授、1993年に同教授。1996年に改組で群馬大学医学部保健学科教授。2011年4月より組織替えで群馬大学大学院保健学研究科・教授。認知症の診療術、認知症のリハビリテーション、介護予防、群馬県内の地域リハビリテーション連携システム作りなどに注力した。2016年10月から現職。

著 書

- ①「認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント～快一徹！脳活性化リハビリテーションで進行を防ごう～」3版、協同医書出版、2016
- ②「認知症ポジティブ～脳科学でひもとく笑顔の暮らしとケアのコツ～」協同医書出版、2019
- ③「認知症予防～読めば納得！脳を守るライフスタイルの秘訣～」2版、協同医書出版、2014
- ④「楽になる認知症ケアのコツ～本人も家族もそろって笑顔に～」技術評論社、2015
- ⑤「紙とペンでできる認知症診療術～笑顔の生活を支えよう～」協同医書出版、2016
- ⑥「認知症の食事ケア～ともに笑顔の毎日ごはん～」主婦と生活社、2016
- ⑦「認知症の本人・家族の困りごとを解決する医療・介護連携の秘訣～初期集中支援チームの実践20事例に学ぶ～」協同医書出版、2017

活 動

日本認知症学会・名誉会員
ぐんま認知症アカデミー・代表幹事

資格・専門領域等

医師(専門は認知症医療・リハビリテーション・ケア)
日本認知症学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医



山口 智晴

(やまぐち ともはる)

群馬医療福祉大学
リハビリテーション学部
作業療法専攻 専攻長 教授

2004年に作業療法士として群馬県にある日高リハビリテーション病院に入職。作業療法士養成の専門学校教員を経て、2013年に群馬大学大学院博士課程を修了し現職。著書は「認知症の本人・家族の困りごとを解決する医療・介護連携の秘訣」(協同医書出版社、2017年)など。

前橋市認知症初期集中支援チームリーダー、群馬県作業療法士会副会長、高次脳機能障害の家族会NPO法人ノーサイド副理事長、介護予防活動普及展開事業 群馬県アドバイザーなどを勤める。

安中元氣いきいき体操にも
ご出演いただいています♪

